

豊橋 特別養護老人ホーム 大清水彩幸 職員日より「お散歩」&「七夕」



あまり遠出は出来ませんが、晴れた日には近くへお散歩し気分転換(^^)ゆったり、のんびり過ごされています！

皆さん真剣な表情で願い事を書かれ、飾りつけの後は笑顔で短冊を見守っていました。(コロナをやっつけろ~!)

七夕

豊橋・大清水 彩幸 特別養護老人ホーム グループホーム

豊橋 グループホーム 大清水彩幸 職員日より「STAY HOME」



寒い冬がおわり、あたたかい春が来て、もうすぐ夏本番…

外に出て四季に触れることがなかなか難しい(いま)ですが、大清水彩幸の中央にある、ウッドデッキの中庭で

四季の空気を感じながら、身体を動かし皆さんの笑顔の花がたくさん咲いています♪



豊川 彩幸 ケアハウス

豊川 ケアハウス豊川 彩幸 利用者様日より

秀「動かないことが特効薬と知り」

コロナウイルス感染予防の為入居者様には外出を控える等ご協力をお願いしています。その中で、どのように過ごされているかご紹介いたします。

川柳が趣味で毎週東愛知新聞の時事川柳に投稿している川崎充さん。ネタ作りは「外に出られた時は思いついたらすぐメモを取りネタが出来ると今は外に出られない為、ニュース等を参考に作っているんです。」と話してくれました。秀句に選ばれてとても喜ばれていました。皆さんも投稿してみてくださいはいかがでしょうか？



豊川 彩幸 デイサービスセンター

豊川 デイサービスセンター豊川 彩幸 職員日より「面白いこと探し」



感染症対策で「外出行事」「ボランティア交流」が次々に中止になってしまいました…。身を守るために新しい生活様式を取り戻すのは難しいです。

利用者様と相談しながら普段の内容を少しアレンジして「こんなデザインもいいね」「こういうの使うと面白いわね!」と私達なりの新しい生活様式を探しています。

いろいろな事に挑戦する良い機会ですので、クラブ以外にもご当地体操なんかに挑戦していききたいと思います! 視点を変えて「面白いこと探し」を始めますよ!



豊川 彩幸 居宅介護支援事業所

豊川 居宅介護支援事業所豊川 彩幸 職員日より「出会い」は「活力」



人との出会いは貴重なもの。一緒に楽しい時間を過ごしたい。デイサービスをきっかけに広がる縁。今回はデイサービスでの出会いをきっかけに親しくなり、楽しい時間を共に過ごした日への活力にできる。そんな素敵なお二人をご紹介します。

坂口タマコさんと中村まささんです。お二人の通われているデイサービスは得意な事を伸ばしお互いに意欲を高め合える場所です。坂口さんは池坊の先生をされていて花材を見て手作りの花器に手際よく花を生けられます。中村さんは特技の習字をさらさらと書き上げその腕前は国際書道展で入選するほどです。

ケアマネジャーとして利用者同士が意気投合しそれぞれに高めあう姿に幸せを感じます。これからもご利用者様の生活のお手伝いのできたらいいなと思います。(M)

高齢者でお困りごと、入居・利用の相談等、お気軽にお問合せ下さい。

社会福祉法人豊生会 <https://saikou.or.jp/>

【彩幸】豊橋市西赤沢町字深山95番地 TEL.0532-23-6011
 【大清水彩幸】豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-25-3361
 【豊川 彩幸】豊橋市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771

人はそれぞれの個性を持って生まれひとりとして同じ人生を歩む人はいない生まれも育ちもちがう人達が集う施設だから自分色の光を輝かせながらお互いの色を重ね合わせる虹のようにここで**幸せの彩り**を輝かせてほしい

社会福祉法人 豊生会 彩幸
<https://saikou.or.jp/>

Vol.4
 2020年9月発行
 豊生会 彩幸発行
 機関紙「仁志」

仁志

「〇〇と共に」と聞いて皆さんは、何を思い出しますか。多分60代以上の方は、映画「風と共に去りぬ」ではないでしょうか?他にも「子の成長と共に」、「年と共に」、「彼女と共に」、「時代と共に」、「音楽と共に」など関係性を表す言葉がたくさん思い出されます。

ここに紹介するのは、「患者とともに」ある医療ケアスワーカーの記録という本です。学生時代、福祉学科に在籍していたこともあり医療福祉に興味を持ち、私がその道に進む原点の一つとなった本です。その内容は、浦辺竹代さんが1959年から医療ケアスワーカーとして働き始めた10年間の実践記録です。久しぶりに埃の被った本に目を通してみました。60年程前の医療制度や社会保障制度、社会福祉は今と比較になりません。しかし、今でも色あせることのない医療ケアスワーカーとして、すべての事例を通して患者と共に人間らしい生活を取り戻していく姿に改めて感動しました。当時は、大きな刺激を受けていたこともあり、学生時代や就職後も知識や技術を学ぶために、同職者と共に勉強会や研修会に参加したことを懐かしく思い出されました。結局、志半ばで15年の経験で医療福祉の分野から離れてしまいました。振り返るとその後に進んだ地域福祉の分野でささやかですが、「共にイヌム」が活かされたのではないかと考えています。

これまで対人援助に関係する仕事をさせていただいた身として思うことは、相手に「してあげるのではなく「させていただく」この謙虚さ、相手人格の尊重、「自分のため」や「相手のため」ではなく「共に」、「一緒に」努力する姿勢が支援する側に求められていると考えています。

今年、開設20周年を迎えた豊川彩幸におきましても皆さんと共に「利用者と共に」、「家族と共に」、「職員と共に」、「地域と共に」の視点を忘れずに取り組んで参ります。よろしくお願いたします。最後に、皆さん「新型コロナと共に」新しい生活を目指しましょう。

豊川彩幸施設長 小林孝行



豊橋(西赤沢) 彩幸 ●特別養護老人ホーム ●ショートステイ ●デイサービスセンター ●軽費老人ホームケアハウス ●居宅介護支援事業所 ●地域包括支援センター 〒441-3213 豊橋市西赤沢町字深山95 TEL.0532-23-6011 FAX.0532-23-6010

豊橋(大清水) 彩幸 ●地域密着型特別養護老人ホーム ●グループホーム 〒441-8131 豊橋市東大清水町181-1 TEL.0532-25-3361 FAX.0532-25-3707

豊川 彩幸 ●軽費老人ホームケアハウス ●デイサービスセンター ●居宅介護支援事業所 〒442-0846 豊橋市森6丁目66-2 TEL.0533-88-9771 FAX.0533-88-9772

豊橋 特別養護老人ホーム 彩幸 職員日より

インドネシアから技能実習生2名が来日!



今年2月に日本に入学し、2か月間の日本語学校での介護と日本語の勉強を経て、4月より彩幸の職員として仲間入りしたニタさんとヌルルさん。すっかり職員や利用者様にも打ち解け、毎日元気に働いています。彼女たちは、彩幸で実際に利用者様の日常生活に関わりながら、介護の勉強をしています。仕事と勉強の両立、また、慣れない日本の食文化や言葉に戸惑うことはありますが、それでも毎日笑顔で利用者様や職員に元気をくれてます。最近では、彼女たちがお休みの姿が見えないと「今日あの子たちは?」と利用者様が気にして下さるほど人気者です。

新型コロナウイルスの影響で、ボランティアの受け入れや外出行事等の中止、また、ご家族との面会制限もあり、利用者様もストレスを感じていらっしゃると思います。彼女たちと、元気いっぱい笑顔溢れる介護をすることで、少しでも利用者様のストレス軽減に繋がれば...と思います。

豊橋 彩幸 特別養護老人ホーム ショートステイ



豊橋 ショートステイ 彩幸 利用者様より 鈴木 肇さんのお話



ショートステイ御利用中は歩行訓練を頑張っておこなわれています!

鈴木様が、64歳から73歳頃までされていた趣味の「パラグライダー」のお話を伺ってみました。

Q. パラグライダーを何故やろうと思ったのですか?

A. 一生に一度で他の人があまりやらないような遊びが良いと思った。1回飛んだら気持ちが良くてはまってしまった。

Q. パラグライダーをやってみてどうでしたか?

A. ファーストフライトは赤羽根海岸で、順番がくると手足が震え、口も乾くし怖かったなあ。1回飛んだら眺めが最高で地球を独り占めしている様な感覚で気持ちが良かった。今までの遊びの中で最高の遊びだったなあ。今までの幸せの上に89歳を迎え、彩幸の職員の皆様にお世話になります。

豊橋 在宅介護支援事業所 彩幸 利用者様より 田中 秀幸さん(91歳)



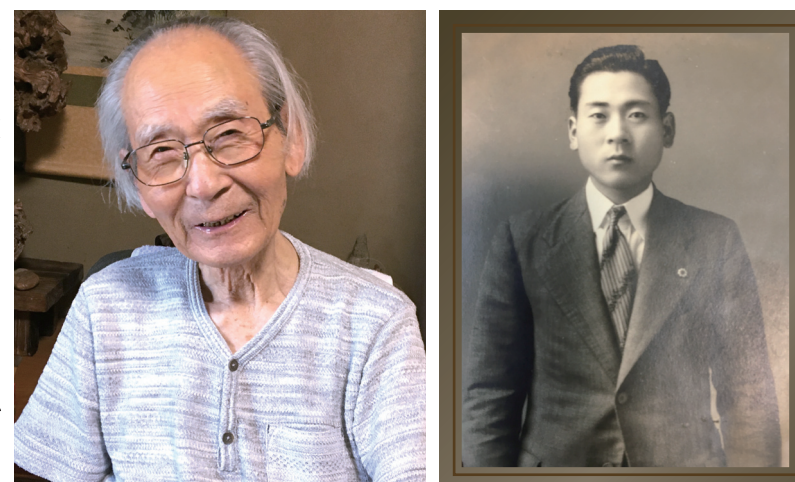
今回の「キラリ☆輝き人」は、田中秀幸さん(91歳)にインタビューさせていただきました。

田中さんは、時折、担当ケアマネジャーに、お花の鉢植えや、自作の押し花をプレゼントして下さいます。お花の鉢植えに関しては、開花の時期が終わると、「また来年、花が咲く頃にお渡しします」と仰り、枝葉だけになった鉢植えを引き受けて行くというスマートさ!!これは、取材せずにはられません。

まずは、生い立ちから。千葉県銚子市のお生まれ。小学校に上がると、学ぶ事の面白さにめざめます。勉強だけでなく、体育の授業で、鉄棒の大車輪をやったのけたり(←「回り過ぎて、自分でもびっくりしちゃった(笑)」)、300m先の的に鉄砲玉を3発命中させるという、稀に見る快挙を成し遂げ、体育検定でもA判定だったそうです。

中学生の時に、太鼓を叩きながら賛美歌を歌う集団を見つけ、好奇心から付いて行った教会で、宣教師の説教に心を奪われます。中学卒業後は士官学校に進学する事を期待していた親の反対を押し切り、神学を学びたいとの強い思いで、奨学金を得て大学で、神学や終末論を学びます。植字のバイトをしながらの学生生活で、消灯後も布団の中で灯りを点け、夜中の2、3時まで勉強をする毎日だったそうです。それでも苦にならず、「勉強できる事が楽しかった」と仰います。

前述の押し花作りについて伺うと、「キレイな物が好きなんだよね」とサラリと仰います。素敵!!茶道や華道を嗜み、俳句、短歌、詩を詠み、海外旅行も楽しんで来られたとの事。現在の一番の楽しみは読書で、「新しい事を知るのが、ワクワクする」と、目を輝かせてお話し下さいました。 幾つになっても、好奇心、向学心を忘れずに探求し続ける田中さん、やっぱり素敵なお方でした。



豊橋 彩幸 在宅介護支援事業所 地域包括支援センター

豊橋 彩幸地域包括支援センター 利用者様より 牧野さん(89歳)



豊橋市の南部に位置する杉山町。そこは日本の原風景のような田園風景が広がり、昔ながらの地域のつながりも色濃く残っています。そんな杉山町にお住まいの牧野さんをご紹介します。

御年八十九歳ですが、自宅前の畑で冬はキャベツや白菜、春にはエンドウ豆を育て、畑仕事を続けています。また、お花が大好きで四季折々の花々が庭に彩りを添えています。毎日元気に過ごす牧野さん、実は数十年前からお一人暮らしをしています。一人暮らしでも困らないのは、この地域だからこそなんです。ご近所の方が採れたての野菜やお米の差し入れや、買い物を手伝ってくれる。台風で停電になった時には心配して声をかけながら、おにぎりを作ってきてくれる。暖かい地域と人々に見守られながらいつも笑顔で暮らされています。彩幸地域包括支援センターも牧野さんと共にいつまでもこの地域と一緒にありたいと願っています。



豊橋 ケアハウス 彩幸 職員日より

~ケアハウス 日々雑感~

4階ベランダの花壇には、今年も色あざやかな花々が次々に咲いて癒されます。変わらないものは季節の移り変わりや自然だけ。このところの新型コロナウイルス、「そのうち治まるでしょう」と楽観的に考えていましたが、まさか東京オリンピックが延期になって、世界中にも広がって、こんなに社会全体が混乱するなんて思ってもみませんでした。すべての行事が中止になり、ご家族との面会もままならない日々。

「生きていればこんな事もあるよ」

と入居者の方のつぶやき。

さすが人生の先輩たち。大変な時代を通過してきた方々だけに、達観したお言葉です。

ところで、それはさておき、定額給付金の10万円は、何に使いましたか?職員の中でも貯金という堅実な人、生活費に消えちゃうよという人、さまざま。あとで振り返った時に、思い出に残るような使い方をしたいですね。宿直さんは、「あぶく銭ですからね」と笑っていましたが。ケアハウスの皆さんはどうするのか、ひとりひとりに聞いてみるのも楽しいかもしれません。



豊橋 彩幸 ケアハウス デイサービスセンター

豊橋 デイサービスセンター 彩幸 職員より 「レクリエーション 園芸」

「利用者の皆様直伝の農業スキルで目指せ美味しい野菜」

デイサービスの小さな花壇では年に何度かレクリエーションの時間を用いて、野菜や花を育てています。春から夏にかけては季節の花を植えたり、ナスやキュウリといった夏野菜の植え付けから収穫までを楽しむことが出来ます。経験豊富な利用者の皆様を先生に、職員も一生懸命仕事をします。利用者の皆様は長年培ってきたスキルを生かして、植え付けも収穫も手際よくこなし、育て方や食べ方のアドバイスまで下さっています。もちろん草取りや害虫駆除はお手の物。葉についた虫を見て、思わず手を引っ込める職員と躊躇なく駆除にかかる利用者様。経験の差を目の当たりにしました。とてもかかないそうにありません。時々勢いあまって草と一緒に苗を抜いてしまうのはご愛敬。真剣に手を動かしながらもおしゃべりだっってしっかり楽しむ事のできる利用者様です。わいわいお話ししながら楽しく園芸の時間が過ぎて行きます。利用者様直伝の農業スキルを駆使して管理している畑ですが、ちょっとほおっておくとおぼけきゅうりが発見される事も...

今年はナスを育てているので、料理好きな利用者様にお勧めの簡単レシピを伺いました。

簡単! ナスレシピ

- ①ナスを小さく切って塩もみをする。
②水でよく洗い絞る。
③削り子としょうゆをかけて完成!

簡単なで作ってみてください!

